

b004001	〔吉田区〕 日高神社 日高神社大祭	概要 適用
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 日高神社は、平家の落人を祀っているという由来(平家の落人伝承)のある神社。 ・ 平家の落人は、屋久島の中でも、最初にこの吉田集落到上陸し、ここから島内の各地へ分散したと云われています。 ・ 「吉田神社」とも言われており、天照大神(一品法珠権現)が祀られ、吉田岳頂上が御神体。(社の中にある札には「吉田神社 祭神 大山祇神」) ・ 平家一族の中に、日高阿波前司吉房が清房と共に行動しているので、この日高氏が建立し、日高氏を守神として日高神社が祀られたと言われている。 ・ 祭神は天照大神(一品宝珠大権現)、匂々能智神、草野姫神が祀られていて、平家の落人を祀っている由来である。 ・ 古道(参道)は、毎年、元日の日に村人は、集落の真下にある砂浜(下の浜)の海水で身を清め、大岩に合掌し、森山神社に通ずる参道をぬって日高神社に参拝するのが慣わしになっていた。 ・ 以前は日高家が代々管理してきたが、20年ほど前から吉田区が祭事を行っている。 ・ 民家のあるところから、鳥居が続く。これは吉田区に管理が任されてから作ったもの。 ・ 屋久島に多い「日高」姓の人たちがたまに訪れるという。 ・ 土砂崩れがあったときにそこだけ難を免れ、その土地に神社を建てた。 ・ 日高神社の黒石。 ・ 日高神社下に貞享二年(1,685 年)に日蓮(法華宗)の寺があり、寺名は本満寺であった。 ・ 今でも日高神社境内で黒石に仏法を書いた小石が出るのは、この寺院(禅僧)が書いたものである。 ・ 寺はその後、吉田の庄屋惣左衛門の物となり、流人等も庄屋預りとなり金山など
b004001001) 日高神社		
		
b004001002 日高神社	b004001003 日高神社	b004001004 日高神社
		
b004001005 日高神社	b004001006 日高神社	b004001007 日高神社



b004001008

日高神社



b004001009

日高神社



b004001010

日高神社



b004001011

日高神社



b004001012

日高神社



b004001013

日高神社



b004001014

日高神社

で働いていたという。

・ここに祀られている黒石は、何処から運ばれてきたか年代は定かではないが、おそらく日高阿波前司吉房が、1,200 年代に源氏からの攻撃に備え、屋久島・口永良部島に城壁を構えた時代に、口永良部島の火山岩をこの地に運んだのではないかという言い伝えがある。

- ・日高神社大祭
- ・早朝7時から行われる「朝祭り」。
- ・12月28日に行われたが、以前は旧暦の12月28日に行っていた。

写真コメント

b004001001.JPG 一年に一度、明かりが灯される。

b004001002.JPG 民家のすぐ隣に鳥居がある。

b004001003.JPG 畑を通るようにして参道が続く。

b004001004.JPG 神社すぐ下の鳥居。

b004001005.JPG 神社の鳥居。

b004001006.JPG 口永良部島が見える。

b004001007.JPG 浜から持ってきた砂がまかれている。

b004001008.JPG 社のすぐ裏には立派なアコウの樹。

b004001009.JPG 黒石。

b004001010.JPG 境内看板。

b004001011.JPG 年末に行われる大祭は「のろし」をあげる。

b004001012.JPG 宮司は呼ばず、集落の人が集まり神事を行う。

b004001013.JPG 大祭の時は「そうめん」が用意される。

b004001014.JPG 集落の役員だけでなく、おばあちゃんが数人お参りに来ていた。